

更生保護 あおもり

【第82号】

発行日 平成28年9月30日
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会
 青森県保護司会連合会
 青森市長島1-3-25
 電話 017(776)6419



【仲秋のハマギク 三陸復興国立公園 中須賀】

中須賀(八戸市種差海岸)

写真提供 八戸地区



「地域力に期待」

青森保護観察所
 所長 松橋 進一

早いもので着任後4ヶ月以上が経過しました。この間県内各地を訪れ、その土地の文化等に多々触れさせていただきましたが、その中で感じたのは、自然と伝統を大切にされた純朴な人々が多く、各地に地域力があるということです。各地における「祭り」が良い例と考えますが、それぞれの長をを活かし、地域ぐるみで一大イベントとして行っています。今回私は「弘前ねぶた」と「青森ねぶた」を見学させていただき、青森ねぶたについては保護司会とともに社明の広報を兼ねて参加させていただきました。ねぶたの衣装を身にまとい、花笠をかぶり、広報の傍ら「跳人」として跳ねさせていただきました。翌日から筋肉痛で歩くのも大変であったものの参加した喜びと頑張った充実感を感じることができ、貴重な体験となりました。このように地域の様々な人たちが参加し、一体となって取り組む姿は、まさに地域の理想型だと考えます。短い夏を堪能するかのよう体全体で跳ねることで連

帯感を生み、世代を超えた輪が出来る。毎年その積み重ねが地域力へと繋がっているのでしょう。青森県では、このように地域において協力する態勢が整っていますので、如何に更生保護に結びつけられるかが課題と考えます。

当管内における保護観察対象者は、仕事が得られないため生活が安定しない者が多いことが課題となっています。また、仕事があっても県外への派遣労働であり、可能な者は県外へ出て働くものの短期間の期限付きであるため、安定とは行かないばかりか実態把握が困難となることもあり、再犯に至る者も少なくありません。対象者の再犯防止には、就労先を確保することが重要となりますので、協力雇用主を増やすとともに実際に雇用していただける企業を増やすことが求められています。もちろん雇用主にしてみれば、長引く経済不況の中、雇用拡大は難しく、とりわけリスクのある者の採用は困難でしょう。とても難しいこととは分かっていますが、地域力の高さを発揮し、犯罪前歴者を地域で温かく見守って支援していただけることに期待し、協力雇用主の持つ社会的意義の高さ及び就労支援制度について今一度丁寧に説明して理解を得る努力を続けていきたいと考えています。

ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

予告 第38回青森県更生保護 青森大会

期日/平成28年11月8日(火)

会場/青森市・リンクステーションホール青森



青森県更生保護大会は、昨年度まで2年毎に開催されていましたが、今年度より毎年開催する事となりました。

そのスタートとして今年度は、青森市にて開催。来年度は八戸大会の予定となっております。詳細は後日、各地区よりご案内となります。

更生保護大会は「世界一安全な国、日本」を実現するため、再犯防止の重要性が強く求められている中、更生保護関係団体が一堂に会して式典、顕彰、意識の統一と士気高揚を図り、犯罪や非行のない明るい社会の実現に寄与しようとするものです。



第66回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

ATVの生放送!「金曜マルシェ」で社明運動をPR



犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指し、青森県内各地区で街頭広報、ポスターの掲示、のぼり設置など、地域性を生かした活動に協力いただきました。お疲れ様でした。

7月15日(金)青森テレビ(ATV),新鮮情報満載の生放送!「金曜マルシェ」に青森県保護司会連合会天内会長が出演し、社会を明るくする運動をPR。その中で、鉄拳のパラパラ漫画CMも取り上げ放送していただきました。



青森矯正展

ホゴちゃん、 続々誕生!

毎年、青森刑務所で行われる矯正展において、“社会を明るくする運動”の広報スペースを設け、保護観察所がPRを行っています。

今年も、7月10日に子どもたちを対象に「おえかきホゴちゃん」を実施。たくさんのお子どもたちが楽しそうに、じょうずにホゴちゃんを書いてくれました。子ども好き(??)の観察所職員は大奮闘!書いてくれた子どもたちには、ミニ色鉛筆セットとホゴちゃんシールをプレゼントしました。



河南地区

平川市は小・中・高を訪問、大鰐町は更女会と町民総決起大会、碓ヶ関支部は薬物乱用防止講演、尾上支部は青少年問題相談会を実施

平川市の主な活動は、7月5日から7日の朝には尾上駅前、平賀駅前、館田駅前、碓ヶ関駅前と柏木農業高等学校生徒玄関前でキャンペーン活動を実施。

7日9時から平川市役所前で学校訪問出発式後小学校9校、中学校4校、高校2校を訪問。①総理大臣と青森県知事メッセージ伝達 ②“社会を明るくする運動”作文コンテストへの応募依頼 ③河南地区保護観察事件取扱件数が増加傾向(グラフ化)にあるので生活指導方のお願いをしました。

大鰐町は、7月1日に大鰐駅等3か所で、大鰐地区更生保護女性会と合同で駅前キャンペーン活動を行い、高校生らにキャンペーングッズを配布。7月14日午後1時30分から大鰐町民総決起大会を開催、参加者は大鰐中学校全生徒と大鰐地区更生保護女性会、各種団体等約300名参加し盛大に行われました。また、街頭パレードが計画されていたが、雨天のために中止となりました。

碓ヶ関支部は7月26日夜碓ヶ関公民館で薬物乱用防止講演、尾上支部は7月27日の午前9時～12時まで青少年問題相談会を実施しました。



長尾平川市長にメッセージ伝達



大鰐地区更生保護女性会の皆さん



大鰐町総決起大会で誓いの言葉を読み上げる大鰐中学校成田蓮生徒会長



柏木農業高校生徒玄関前でのキャンペーン活動

青森地区

H12年から中学校と連携、黄色い羽根街頭広報活動、青森ねぶた祭りに参加

中学校との連携は、7月13日甲田中学校で開催、地区社明推進委員長の鹿内市長から伊藤校長へメッセージを伝達、JUMPチームの活動報告、鉄拳のパラパラ漫画上映、「インターネットトラブルにあわないために」サイバー防犯ボランティアの青森公立大学生3名が講演、最後に全校生徒による校歌合唱があり、充実した社明運動でした。また青森ねぶたには、松橋青森保護観察所長、県保連天内会長はじめ30名で参加しました。



甲田中学校でサイバー防犯ボランティアの青森公立大学生



横断幕を持って青森ねぶたまつりに参加



中三デパート前で街頭広報活動



黄色い羽根を付けさせていただく

五所川原地区

板柳町での町を「明るくする町民大会」更女会と保護司会でのティッシュ等を配布

板柳町では、7月15日多目的ホール「あぶる」において、「第35回 町を明るくする町民大会」が開催され、米澤いく子保護司により内閣総理大臣からのメッセージが伝達され、続いて板柳高校JUMPチーム10名が登壇、チームリーダーが力強く大会宣言を読み上げました。最後に犯罪や交通事故及び火災のない明るい町づくりのため参加者全員で「がんばろう」三唱をして閉会しました。

大会終了後、更生保護女性会と保護司会が合同で町内スーパーの店頭においてティッシュ等を配布し、明るい町づくりへの協力を呼びかけました。

また町内の小中学校を訪問し「作文コンテスト」応募の依頼と共に、ポスター・リーフレット等で運動の存在を子どもたちに広く知ってもらえるようにお願いしました。



←米澤いく子保護司により内閣総理大臣からのメッセージ伝達

板柳高校
↓JUMPチーム10名



むつ下北地区



むつ来さまい館での大平中学校吹奏楽部演奏



生徒にお礼(うちわ・ペンセット・ティッシュ等)手渡し



むつ来さまい館～マユダ本店パレード

強調月間の取り組みは6月30日「のぼり旗」の掲出から、7月4日の伝達式・出発式、パレード、愛のキャラバン、5日は風間浦中学校での伝達式、18日熊野神社宵宮啓発活動、31日旗撤去、8月1日防犯綱引き大会と少数精鋭で頑張りました。



風間浦中学校での吹奏楽部演奏

弘前地区

「黄色い羽根」を胸に

「五つの誓い」を唱和!!

7月3日(日)午前10時30分より、市民文化交流館ホール(ヒロロ4階)に於いて、総勢150名が集い第66回“社会を明るくする運動”メッセージ伝達式及び決起大会が実施されました。参加者全員黄色い羽根を胸に赤平名進行者のもと、市当局はもとより事務局及び担当部会の入念な打ち合わせの結果各々の伝達がスムーズに行われました。

「五つの誓い」唱和が新鮮さを助長し、意識高揚の一役を担いました。アトラクションの「和太鼓演奏」も荘厳で士気を煽るに充分でした。

その後の街頭活動はJR弘前駅玄関口と、イトーヨーカドー地下街に分かれて展開し、参加団体の有志と、リーフレット、ティッシュ、ミニうちわ等行人人に配り、運動の理解と協力を求め、成功裡に終わりました。



上十三地区

おいらせ地区

軽トラ市での社明運動

7月3日9時からおいらせ町分庁舎近隣で、保護司4名更女会員4名、役場介護福祉課1名の計9名で「犯罪のない明るい社会」の合い言葉で、ティッシュ、うちわの配布を実施しました。

昨年まではイオン下田店で行っていましたが、今年は店内改装のため「軽トラ市で活動してはどうか」と役場の担当者からの意見を頂き実施いたしました。

「軽トラ市」とは、平成26年から「地域活性化のため」軽トラックでの販売を基本に農林水産物、手作り料理、加工品など7月から12月まで毎月第1日曜日に開かれています。

この日は初日ということで、オープニングでは、町長挨拶の後に町内の可愛い保育園児による楽器演奏や和太鼓演奏があり盛り上げていました。また、恒例の3のつく日の「百石市日」と重なったこと、天候に恵まれたことなどで車で来る人も多く、駐車場、道端は車でいっぱいでした。

初めての「軽トラ市」での社明運動で、皆さんから「暑いのご苦労さん」と声をかけられて、嬉しく大盛況に終わることができました。



おいらせ町 三村町長へメッセージ伝達



軽トラ市での社明運動



軽トラ市での社明運動

つがる地区

約600名参加の市民集会での社明

7月5日に社会を明るくする運動つがる市民集会が開催され、約600名の市民、小中学校生、保護司会、更生女性会等の参加があり盛大に開催されました。

集会開催に先立ち、昨年作文コンクール入賞者の、車力中学校3年の花田早羅さんに1日保護司の辞令が七戸保護司会会長から交付され、保護司会活動の普及、広報活動に協力頂き、また市民集会では、同じく入賞された2名の児童と共に作文の発表も元気よく発表され、参加者から大きな拍手と、声援をもらいました。

集会終了日から市内小学校、中学校でのあいさつ運動が行われ、各校1日ではありますが社明運動ののぼりを会場に立てながら、生徒、先生、保護司、更生保護女性会の皆さんが登校してくる子供たちに大きな声で挨拶して、笑顔が、笑いがあふれてました。その他、市役所前や道の駅駐車場等市内各所に社明運動ののぼり旗を立て社明運動の啓発推進に、また、作文コンクールの募集協力を図り一層の運動の浸透を図っています。



あいさつ運動 児童・保護司会・更生保護女性会の皆さん



車力地区 車力中学校でのあいさつ運動

1日保護司辞令交付 七戸会長と車力中学校3年花田早羅さん

野辺地地区

街頭運動でのPR、ミニ集会・コンサート開催など支部毎に活動

当地区は、5町村の支部毎にそれぞれのPR活動を実施しております。

七戸町支部は、町長へのメッセージ伝達やスーパー等街頭運動でのPR活動の実施。東北町支部は、「かみきた夏まつり」でのメッセージ伝達式や「社会を明るくする運動ミニ集会」での講話及びビデオ鑑賞の実施。横浜町支部は、メッセージ伝達式や役場防災無線での「社明運動」の呼びかけの実施。六ヶ所村支部は、メッセージ伝達式や役場に垂れ幕設置等の実施。野辺地町支部は、朝のおはよう声掛け運動の実施や町内小学校の高学年、中学生及び一般町民を対象に「ギター演奏の内藤敏子&古箏演奏の王敏コンサート」を開催して、メッセージ伝達式や「社明運動」のPR活動を実施しました。

(写真右)
野辺地町支部のギター演奏の内藤敏子 & 古箏演奏の王敏コンサート

(写真左)
東北町支部「かみきた夏まつり」での講話



八戸地区

「種差海岸観光祭り」「子供『禅の集い』」一龍齊貞花氏を招いての「講演と講談の会」

八戸分会では、7月1日を恒例とし、八戸市庁前広場でのメッセージ伝達式の後、街頭で市長とジャンプチーム代表が防犯・非行防止の呼びかけを行いました。同3日には初めての試みとして観光客で賑わう「種差海岸観光祭り」で社明啓発広報活動が行われました。また同6日、階上地区では階上中学校に於いて保護司でもある濱谷町長の講演後、階上中と道仏中の生徒と保護司との恒例の意見交換会。同26日・27日の二日間、長流寺で行われた社明運動協賛の「子供『禅の集い』」は今年で13回目を数えます。

三戸分会では、7月4日、三戸町、田子町、南部町でメッセージが伝達された後、それぞれの町を巡回しての啓発広報活動が行われました。同日午後から開催された一龍齊貞花氏を招いての「講演と講談の会」は、今年は県立三戸高校が会場でした。

五戸分会では、7月6日、新郷村役場、五戸町役場でのメッセージ伝達式。同19日、上市川小学校で開かれた薬物乱用防止講演会では、保護司会会員による寸劇が好評。また8月6日の五戸夏祭り花火大会では啓発広報活動が行われました。



↑階上中と道仏中の生徒と保護司との恒例の意見交換会
長流寺で行われた「子供『禅の集い』」は13回目

鯨ヶ沢地区

保護司と学校との連携を深める朝のあいさつ運動と深浦町・鯨ヶ沢町の町民決起集会パレードに参加

今年度は、保護司と学校の連携を更に深めるために当地区内の全ての小学校(5校)中学校(4校)高等学校(2校)において朝のあいさつ運動を実施しました。

当地区内4地域中の岩崎地域、大戸瀬地域、鯨ヶ沢地域の小・中・高校では7月に実施しました。この後、深浦地域は9月上旬に実施しました。

A小学校では、校長先生始め全教職員が校門前に立ち、一緒にあいさつ運動をして頂き、B小学校でも、教頭先生を始め生徒指導主任、運営委員会に所属する児童も一緒にあいさつ運動に加わってくれました。

小学生のさわやかで元気なあいさつと笑顔に癒しを感じた朝の一時、子どもたちの明るさに私たち保護司もパワーをもらいました。

また、深浦町・鯨ヶ沢町の両町民決起集会に『社会を明るくする運動』の横断幕を掲げ、パレードに参加するなど、保護司としての意識高揚と協力体制の更なる深まりを感じました。



笑顔に癒しを感じた小学生のさわやかな元気なあいさつと笑顔



深浦町・鯨ヶ沢町の町民決起集会パレード

南黒地区

公用車による広報は6年継続, 中学生との連携くろいし夜店集りでの啓発活動

地区全体で取り組んでいる特徴的な活動としては、構成市町村の公用車(交通安全指導車等)を活用した社明街頭広報活動です。公用車にマグネット式の啓発標語を貼り付け、録音テープによる社明広報活動をこれまで6年間継続して実施しているところです。

内閣総理大臣メッセージ伝達は、地区内構成市町村長の絶大な支援と信頼を受け、地道にしっかりと活動を実施できていくことは、大変有難いことだと受け止めています。

黒石支部では、市内中学校のJUMPチームや生徒会の協力を受け、期間中に登校する生徒に社明ティッシュを配布しています。そのほか、関係の町村で実施している防犯パレードなどにも積極的に参加し、社明活動への協力と理解を深めるためにしっかりと活動しています。また、地区更生保護女性会黒石支部では、くろいし夜店集りで啓発活動のためのティッシュ配布を実施しています。

社明運動の期間中、各支部では主要な場所に社明のぼりを掲げ、運動の理解と周知を図っています。



主要な場所へのぼりを設置



地区内構成市町村長へメッセージ伝達



中学校に登校する生徒に社明ティッシュを配布

NHKで放送されました

NHK「くらし☆解説」8月25日に取り上げられました。番組をまとめた記事を是非御覧ください。

<http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/700/251235.html>

(NHK ホームページより一部抜粋)

「社会の入り口」としての更生保護

ある専門家は、「更生保護は社会の入り口だ」と指摘しています。過去に事件を起こした人、もしくは困っている人を、社会が門戸を閉ざしてしまえば、結局また犯罪を繰り返すことになりかねません。

私たちが保護司の活動を理解して地域の活動に参加したり、保護観察を受けている人の仕事に協力したりと、できることはたくさんあります。

そして行政や保護司に任せるだけでなく、入り口となる社会が多様な人を受け入れるという「寛容さ」が、安全な街作りにもつながると思います。



青森県BBS連盟だより

第58回東北地方BBS大会・東北管内地方BBS研修会を終えて

平成28年6月25日(土)・26日(日)青森市浅虫温泉にて1泊2日で開催されました。この日は東北六魂祭と日程も重なり、交通の混雑が予想されましたが各県連の協力もあって研修会は時間内に開催する事が出来ました。

今回は実践活動として、研究協議にはマップづくりを体験してもらいました。会員をランダムにグループ分けして、さまざま視点からマップづくりを浅虫温泉周辺で実践し、住民の方の意見を聞いた情報や問題点を会員同士共有し、会員相互の交流などからBBS会員としてのスキルを向上させ、BBS活動に現在何を求められるのか考察する事も目的の一つでした。

当日心配された天気も回復し、グループで得た情報を共有し話し合いそしてマップを作成し発表しました。各グループ内で多大な成果を得たようでした。

今回の大会・研修会に至るまでに十数回も会議をし、青森県BBS会員として育て、学生会員と社会人会員との連携も強まったようでした。

青森保護観察所に於いては、担当官が休日にも関わらず、庁舎の会議室を提供してくれたり、大会に於いては観察所及び更生保護協会の手助けもあり、受付・会場整理等、多大に協力を得る事が出来、無事終了する事が出来ました。

各更生保護団体の皆様又、青森県知事・青森市長を始めご参列頂いた方々には、深くお礼申し上げます。

今後とも、青森県BBS連盟をよろしく見守り下さい。



更女会だより

「みんなのつどい」

青森地区更生保護女性会 会長 神 和子

「みんなのつどい」は、幼稚園児から高齢者まで、地域住民と協力し、「社会を明るくする運動」の一環として開催されています。お陰様で35回となりました。この間に青森市民、県内の更女会員、函館市民の参加で輪が広がり、多くの方が賛助出演、広告協賛、企画運営の協力を頂き、また当日は「みんなのつどい」に参加と心から感謝申し上げます。

これからも、被害者を出さない、加害者を出さない明るい社会を築くために努めてまいります。



(益金贈呈) 青森地区保護司会、青森市社会福祉協議会、青森県更生保護協会、更生保護法人あすなる、青森地区協力雇用主会、青森地区BBS会、森の工房ふれあい、青森県更生保護女性連盟

保護司会だより

「SST研修」を体験して

弘前地区保護司会 事務局長 三浦 一雄

弘前地区保護司会では、7月27日に日本更生保護協会並びに全国保護司連盟からの助成を受けて、標記の自主研修を実施しました。講師はSST普及協会認定講師の片柳光昭氏をはじめ柿崎真澄氏、渡部裕一氏が仙台などから駆けつけて下さいました。

SSTはSocial Skills Trainingの略語で、「社会生活技能訓練」と訳されています。社会生活の中でうまく人と関わり、よりよい人間関係をつくる技能を身につけることを目的に行われている練習方法で、実際に少年院や刑務所の中で取り入れられているそうです。

この日は、前半1/3は講義、残りは実践ということで進められ、3人グループをいくつも作ってグループ毎にその技法を学びました。SSTを用いた実践として、①社会的モデリング ②弁別刺激 ③行動形式 ④行動リハーサル ⑤「正の強化」「負の強化」について練習しました。

参加者の人間関係が良くなったようです。



次の方々から浄財が寄せられました。
厚く御礼申し上げます。(敬称略)

(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

- 〈平成28年4月1日～平成28年8月31日〉
- 〈10万円〉宮崎 春子
- 〈4万円〉黒瀧 信行
- 〈3万円〉青森地区更生保護女性会

(更)あすなろ 寄附者御芳名

- 〈平成28年4月1日～平成28年8月31日〉
- 〈5万円〉三浦 順子
八戸地区保護司会
- 〈3万円〉平尾 博志
富田 光子
青森地区更生保護女性会「みんなのつどい」
むつ地区更生保護女性会
- 〈2万円〉八戸地区更生保護女性会
五所川原地区更生保護女性会
- 〈1万円〉鈴木 美香子 久慈 博昭
塩原 誓子 野澤 壽代
橋本 敏子
十和田地区更生保護女性会
- 〈1千円〉春藤 安正

(更)青森県更生保護協会 会員御芳名

- 〈平成28年4月1日～平成28年8月31日〉
- 【賛助会員】〈8万円〉株式会社 みちのく銀行
青森県火災共済協同組合
- 〈1万円〉株式会社 アケア(八戸市)

平成28年 春の叙勲・褒章
おめでとうございます(敬称略)

叙勲 【瑞宝双光章】
泉 登喜子(上十三・保護司) 更生保護功労

叙勲 【旭日双光章】
中川 隆司(青森・保護司) 不動産業振興功労

褒章 【藍綬褒章】
後藤 辰雄(野辺地・保護司) 更生保護功績

○退任保護司 長い間ありがとうございました。

- (平成28年3月31日付け) 小田原 良三(つがる)
- (平成28年5月31日付け) 藤谷 松男(野辺地)
- (平成28年8月31日付け)
- 石田 道夫(青森) 長崎 悟(青森)
- 飯田 祥生(青森) 岩村 隆二(八戸)
- 高瀬 壽男(八戸) 松橋 達男(八戸)
- 百目木 啓司(八戸) 久保澤 良美(八戸)
- 白取 正美(南黒) 樋口 勝彦(河南)
- 竹谷 博則(五所川原) 飯田 麗子(つがる)
- 成田 隆博(つがる) 一戸 良子(鯉ヶ沢)
- 大川 宏紀(鯉ヶ沢) 秋 穂 隆雄(鯉ヶ沢)
- 兼平 晃(鯉ヶ沢) 上明戸 幸治(上十三)
- 杉山 道彦(野辺地)

○新任保護司 今後の御活躍を期待します。

- (平成28年9月1日付け)
- 佐々木 敦子(青森) 三上 秀花(弘前)
- 毛利 精悟(弘前) 金田 実(弘前)
- 高橋 通政(八戸) 新田 教文(八戸)
- 関口 恵(八戸) 新村 田隼一(八戸)
- 成田 全弘(河南) 石岡 芳幸(五所川原)
- 松木 文子(つがる) 松橋 浩司(つがる)
- 石岡 幸男(鯉ヶ沢) 富田 浩(鯉ヶ沢)
- 八木橋 健(鯉ヶ沢) 原田 佐保利(鯉ヶ沢)
- 菊池 治夫(むつ下北) 佐藤 みどり(むつ下北)

●敬弔 ここに生前の御功績を偲び、
謹んで哀悼の意を表します。

- 坂井 秀樹(野辺地) 平成28年4月1日御逝去
- 佐藤 誠治(南黒) 平成28年8月27日御逝去

青森保護観察所 緊急連絡先(H28年度)

- 保護司人事関係・災害報告関係(企画調整課長・五十嵐) 090-6542-1163
- 更生緊急保護事件・更生保護施設関係(統括保護観察官・村上) 090-7329-2967
- 保護観察事件関係(統括保護観察官・久野) 017-744-6054

大規模災害発生時における安否確認について(お願い)

これまで緊急連絡先の登録等に御協力いただいているところと存じますが、多くの保護司が避難所への避難を余儀なくされることとなるような大規模災害時等には、連絡網が利用できないことが想定されます。そのような場合には、速やかな安否確認のためにも、通信連絡が可能になった際に、速やかに各保護司から所属の保護司会事務局又は保護観察所に御連絡いただくよう、御協力方よろしくお願いいたします。保護司以外の関係団体の皆様におかれましてもこれに準じた対応についてよろしくお願いいたします。

全国に発信!



保護局ツイッター情報

ネットで検索して見て下さい。

保護局から許可をいただいて掲載しています。

保護局

検索

更生ペンギン「ホゴちゃん」

法務省保護局 @MOJ_HOGO - 8月22日

【社明@青森】青森の暑い夏が頂点に達するねぶた祭り! #ホゴちゃん のウチワは大人気。保護司も跳ねた! 青森保護観察所長も跳ねた! #社会を明るくする運動 を多くの観客の皆さんに発信しました。



法務省保護局 @MOJ_HOGO - 8月11日

【BBS@青森】大学生の会員が増えてきた青森県のBBS会。青森保護観察所にて、BBS会の新会員研修が実施されました! 保護観察官による説明や、ピアオなどで今まであまりなじみのなかった「更生保護」について理解を深めました。



法務省保護局 @MOJ_HOGO - 8月4日

【社明@青森】青森市立横内中学校にて #社会を明るくする運動 ミニ集会が開催されました。生徒と先生約30人を変えて、交番所長さんの講話を聴き、鉄拳さんのパラバランガを見て、自分たちができる「おかえり」について話し合いました。

